陳　情　文　書　表

（令和８年12月１日）

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第275号（８．11．24） 民間利用・経済活動の妨げになりかねない神戸空港の特定利用空港指定に同意しないよう求める陳情
陳情の要旨	１．民間利用・経済活動の妨げになりかねない神戸空港の「特定利用空港」指定に同意しないこと。
陳情者の住所及び氏名	神戸市兵庫区 民主商工会　神戸市協議会 会長　加口　良秋
送付委員会	経済港湾委員会

神戸市議会議長 よこはた 和幸 様

2026年11月24日

陳情者　民主商工会 神戸市協議会
会長 加口 良秋
神戸市兵庫区
TEL

民間利用・経済活動の妨げになりかねない
神戸空港の特定利用空港指定に同意しないよう求める陳情

【陳情趣旨】

市民のため日々奔走していただき、心から感謝いたします。

国から、神戸市が管理する神戸空港を「特定利用空港・港湾」に指定する旨、説明があり、神戸市での検討がすすめられています。

国の安保三文書の「国家安全保障戦略」(2022年12月閣議決定)には、「総合的な防衛体制の強化の一環として、自衛隊・海上保安庁による国民保護への対応、平素の訓練、有事の際の展開等を目的とした円滑な利用・配備のため」「自衛隊・海上保安庁のニーズに基き、インフラの整備」が位置付けられ、あわせて「有事の際の対応も見据えた空港・港湾の平素からの利活用に関するルール作り等を行う」と明記されています。

「特定利用空港・港湾」は、平時に自衛隊機による訓練や緊急時の優先使用を行うことが想定されています。最近行われた日米共同統合演習(10月19日～29日、史上最大規模で北海道から沖縄県まで10県で展開)では、「特定利用空港・港湾」に指定された6空港(北九州空港、長崎空港、福江空港、大分空港、宮崎空港、徳之島空港)14港湾が、自衛隊・米軍の人員や装備品の機動展開・輸送に使われました。平時であっても、米軍も加わる共同演習が行われると、空港・港湾は主に、部隊・車両・装備品・物資を展開させる「統合輸送」の拠点として位置づけられるのです。

神戸空港は、国際路線の拡大をはかり、世界に開かれた神戸の玄関口の役割を果たそうとしています。「特定利用空港」に指定されると、自衛隊などの訓練ばかりか、有事を想定した大規模な演習に「利活用」されかねず、一般の旅客便や貨物便の離着陸など民間利用に制限や遅延が起こる恐れがあります。神戸経済にとって極めて重大な悪影響を及ぼしかねないのです。

国内外のきびしい経済、安全保障環境の影響で、神戸市民の生活はきびしい状態に置かれています。神戸市も神戸市民の生活を守るために多大な努力を払っておられると思いますが、神戸空港の「特定利用」使用によって神戸経済、神戸市民の生活に悪影響を与えかねない「特別利用空港」の指定に同意しないように求めます。

【陳情項目】

民間利用・経済活動の妨げになりかねない神戸空港の「特定利用空港」指定に同意しないでください。